定塚地区 ウォーキングマップ

古城の森と歴史文化を探る コース

約4.2km

高岡市では、にこにこ笑顔の毎月25日は「たかおか健康づくりの日」としています。
この日はご自身やご家族で、地域で、健康づくりに取り組みましょう。

みどころ

郊外にあって、春は桜、夏は緑、秋は紅葉、冬は雪、それぞれにあったトンネルを潜ることのできる風光明媚な文化の森コースです。

❶ 高岡大仏

高岡大仏の初代は、延享2年（1745年）、坂下町極楽寺の弟子・良歓が現在地で3丈2尺（約9.7m）の木造金色の仏像を建立した。ところが文政4年（1821年）に焼失。その後、2代目が再建されたが、これも明治33年（1900年）の大火で焼失した。現在の大仏は定塚町の松木宗左衛門が発願し、火災に強い鋳造仏を明治40年に着手。高岡市民の協力をえて昭和8年（1933年）に開眼式が行われた。日本三大仏の一つとして優しい慈眼を注いでおられる。

❷ ポンポン山

古城公園から連なる高岡台地の北の端、県立高岡高校の敷地の北隅にある。正式には「入定塚遺跡」と言う。利長坊は100年後の前田利長公の登場を予言して、ここに穴を掘って生きたまま入り、穴の中で鈴と太鼓を「ポンポン」と鳴らして読経をとなえたという言い伝えが、資料として利長坊を先祖とする中川熊野神社に保管されている。

❸ 満姫慰霊碑

前田利長公の唯一の実子と伝えられる「満姫」が亡くなった時（7才）、日蓮宗本陽寺（片原町）を菩提寺にした。墓は明治43年（1910年）に前田家の墓所のある金沢市の野田山に移されたが、後に地元の有志が集まって跡地に石碑を建てて、霊を慰めたと伝えられている。

（北日本新聞サービスセンター高岡本社提供写真）